

れのしかつた 秋の日

今日は 何だか ちやうどさむい

気がふれお天気が ちやうどいふやうな

えしふりに雲をちやてれを見る

白いかり 見わすれ

美しさをほこつて いたのに

ちやうど一葉かのびている

あついで ちやうどいふ と言つて いるうちに

秋は近ごいて いる

秋は いら 本当に いら

子供のころ 秋というだけで うれしかつた

当時の道路 おぼえて いる

山道 通りを のぼつて いくと

赤い屋根の家が ちやうど

赤い屋根は 秋には ちやうど

その赤い屋根を見て 秋だなと 思つて いる

下校 そのころ

当時の 担当の若い先生

受業が ちやうど

外へ 行きましょつた

とすばうし草のあま音台へ行さ

轉松に腰をぶらし

キヤラナルを一人一人にわたしてゐる

フヤラメルをね入れ

見のたすと小舟がまがりする

みりとか見えぬ

いひきりしとゆつたりすこす

しほくくすすと

致まへかぶり玉しよろか

と雪敷へかまり

今見たことかいこみで

~~あ~~ぐかゆ

キヤラナルこと小舟のこ

腰をぶらし草花のこ

秋のたじめの

にやしら一日たうた

2024  
9/6